

## 第15回・第16回 海藻シンポジウム報告書

江ノ島・フィッシャーマンズ・プロジェクト

第15回海藻シンポジウム 2020年12月12日 土曜日

コロナ禍での開催につき、市役所経由参加者と時間帯を分けて、密にならない様に開催。

市役所分 大人30人 小人26人 20家族

EFP参加者数 大人36人 小人34人 24家族



市役所分の参加者は、9時30分 10時30分と2回に分けて集合して頂き、種付け体験とクルージングのみ体験して解散して頂きました。

EFP参加者は11時から12時30分の開催で、3チームに分かれて頂き、

①ワカメの種付け体験 ②ミニクルージング ③およぎだす不思議な魚 ④スマホ顕微鏡で色々見てみよう⑤動画で漁師のお仕事を見てみよう

の5つの体験をして頂きました。当日少しだけナマコやヒトデが用意できたので、ミニミニタッチプールも加えました。

### ①ワカメの体験

例年よりゆったり人数で、じっくり楽しんで頂けたと思います。

相変わらず、子供は真剣に種付けをしています。



## ②ミニクルージング

本日の海上コンディションはとても良く、青空のクルージングとなりました。  
ミニクルージングは毎回人気です。



## ③およぎだす不思議なお魚

ホワイトボードマーカーでアルミホイルに絵をかいて、水に浮かべると言う、単純な遊びですが、真剣に体験していました。ご家庭でも楽しめる手軽な遊びですが、コツが必要で夢中になっている子供もいました。



## ④スマホ顕微鏡

ヒトデの口を拡大してみたり、シラスの顔を見たりと楽しそうに体験していました。





⑤ 漁協の協力で作成した、漁師のお仕事動画を見て頂きました。

ドローン撮影の定置網や実際にブリが定置に入った動画は興味深く見ていました。



⑥ ミニミニタッチプール

急遽、漁協の方が用意してくれた、ヒトデやナマコ、袖口がびしょびしょになるのに、触っていました。タッチプールはミニミニでも、お子様は大好きです。



コロナ禍での開催、市役所の動向に振り回されましたが、縮小でも開催できた事は良かったと思いました。一齐に集めての講義が難しかったので、藻場のテキストは作成して、配布にしました。コロナ禍で中止なのは、との問い合わせも頂いていましたが、日に日に、コロナ感染者数が増えている状況だったので、実際に当日参加してくれるのだろうか不安でした。しかし結果的には、この状況禍での開催に感謝の声がほとんどでした。日々の自粛に疲れているところ、港で大きく深呼吸してくださいと呼びかけたのも良かった様です。中途半端な開催である事や大きく集客ができなかったのも、参加費は無料としました。集まってくれた、スタッフも最少人数とし、EFPの会場スペースには市役所予約の方々が入らないなどの区分を線引きをしたり、コロナ禍での開催は、今まで以上に責任問題の区別など、苦勞もありました。しかし、開催を途絶えさせることは、今までの努力も無くなる様な気持ちもあったので、縮小でも開催できた事は、良かったと考えています。参加者の声も、『開催ありがとう』を沢山頂きました。

第16回海藻シンポジウム 2021年2月13日 土曜日

第16回海藻シンポジウムは『緊急事態宣言』発令の為中止となりました。

しかし、ワカメは育っています。種付けした子も結果を見てみたいだろう…

漁協は、市役所の建物なので、市役所の許可が無いと開催できないし…

市役所の方針は、種付け参加者に、袋に詰めたワカメを取りに来て頂くだけとなりました。

それでは、体験学習にならないし、体験すらないのは、今までEFPが開催してきたイベントの根本が違ってくる、色々悩み、考えて、『生ワカメ即売会』と名称を変更して開催と致しました。

販売であるならば、コロナ禍でも行われている事なので、問題は無いと判断しました。

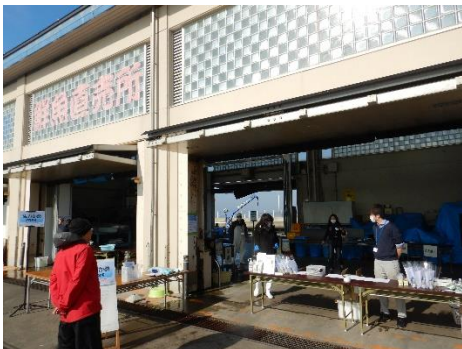
市役所分の配布場所はEFPと離れた場所でお渡し頂き、一応『即売会』としたので、受付横に別のブースを設けて販売のみ行い、ホームページから予約して頂いた方は、刈取り体験をして頂きました。

開催時間も幅を付けて10時～12時とし、密を避けました。

参加者数 大人45人 小人28人 総人数73人 32家族

やはり県内の方が多かったです。

種付け参加者も県内の方はほとんど参加して頂きました。



① 刈取り体験

種付けした参加者もワカメを初めて刈取る方も、大きさにびっくりしながら、刈り取ったワカメを詰めていました。





## ② ワカメの塩蔵体験

沢山のワカメをすぐに食べきれない方は、塩蔵してください。

との案内と共に、塩蔵体験をして頂きました。



## ③ およぎだす不思議なおさかな

このコーナーは、EFP イベントの定番になりそうです。

費用が掛からないのに、お子様は必ず試して真剣に体験しています。



## ④ワカメの種付け後の動画

12月に種付けした後のワカメの様子を動画にして、皆様に説明しました。ダイバーによる、ワカメ棚の撮影風景は、普段見る事無い映像で、皆様感動して頂けました。



## ⑤スマホ顕微鏡コーナー

今回は、『里海イニシアティブ』の方々はお越しにならなかったのですが、EFP 購入の顕微鏡でご自分のスマホで見て頂きました。ワカメに付いたワレカラを見たりと、楽しんでいました。24インチのディスプレイに転送してして、見て頂くセッティングもチャレンジしました。



コロナに振り回された1年でした。今後もこの状況は3~5年は続くのでしょうか。  
コロナは無くならないので、以前の開催方法に戻れることを願うのではなく、  
現在の状況にあったイベント開催をしていく事を考えていかなければならないと強く思います。  
幸いにも、屋外イベントなので、換気の問題が無い事で、参加するハードルは低く、  
緊急事態宣言中でも、県内在住参加者は想定を上回る参加者数でした。  
大型テレビによる動画配信は、とても好評です。  
Y o u T u b e の時代です。今後はこちらで動画作成してイベントに組み込んでいきます。  
今回テーブルを揃えられた事で、今後レンタル料金もかからず、開催していけます。

来期からは、藤沢市とは分離開催を考えています。コロナ禍での行政・民間では、やはり大きな溝ができ  
てしまいます。いままで同時開催できた事の功績はとて大きく、助けられる事も多数でした。  
しかし、コロナ禍では難しい面の方が多くなっている様に思います。  
お陰様で、テレビやテーブルを揃えられました。  
今後は、EFP 単独もしくは、民間企業との連携で開催していく方向を目指します。  
もちろん、海藻シンポジウムだけでなく、日々の活動にも使用させていただきます。

来期は一般企業からのオファーをすでに頂いています。  
学習塾系は午前中に簡単な学習や工作、午後釣りなどのコースが人気で、すでに実績も上がっています。  
大手企業から、SDGs の講義プラス海岸清掃などのツアーを定期的にとのお話も進行中です。  
今後も、環境問題を、楽しく体験、楽しく学習で身近に感じて頂けるイベントを開催していきます。

私共の活動が大きく変わる下支えをして頂きました。  
3年間、大変お世話になり、ありがとうございました。

江ノ島・フィッシャーメンズ・プロジェクト  
副代表 山下由香里